

令和元年度 動物愛護相談センター動物由来感染症調査結果

1 犬と猫の寄生虫調査

- (1) 検体採取期間 平成 31 年 4 月から令和 2 年 3 月まで
- (2) 対象及び規模 犬 18 頭(延べ検体数 20)、猫 41 頭(延べ検体数 63)の糞便
犬 9 頭、猫 18 頭の虫体
- (3) 方法 直接塗沫法及び飽和食塩水浮遊法による糞便中の虫卵の同定
解剖検査による心臓内及び消化管内における虫体確認と同定
- (4) 結果
糞便検査 (虫卵)

対象 (延べ検体数)	陽性 頭数 (%)	内訳		
		回虫 (%)	イソスラ属 (%)	条虫 (エキノコックス含む)、鞭虫、鉤虫等 (%)
犬 18 頭 (20 検体)	0 頭 (0.0)	0	0	0
猫 41 頭 (63 検体)	8 頭 (19.5)	4 頭 (9.7)	3 頭 (7.3)	1 頭 (鉤虫) (2.4)

解剖検査による虫体確認

検体	陽性 頭数 (%)	内訳		
		回虫 (%)	条虫 (エキノコックス含む) (%)	鞭虫、鉤虫等 (%)
犬 9 頭	0	0	0	0
猫 18 頭	3 頭 (16.7)	2 頭 (11.1)	瓜実条虫 2 頭 (11.1)	0

2 犬と猫の SFTS (重症熱性血小板減少症候群) ウイルス遺伝子モニタリング調査

- (1) 検体採取期間 令和元年 5 月から令和 2 年 2 月まで
- (2) 対象及び規模 犬 11 頭の血清、唾液、猫 21 頭の血清、唾液
- (3) 方法 リアルタイム PCR 法によるウイルス遺伝子の検出
検査は、東京都健康安全研究センター微生物部ウイルス研究科に依頼
- (4) 結果

	血清			唾液		
	検体数	陽性数	%	検体数	陽性数	%
犬	11	0	0.0	11	0	0.0
猫	21	0	0.0	21	0	0.0
計	32	0	0.0	32	0	0.0

3 狂犬病ウイルス検査のための、安全で簡便な検体採取方法の検討

- (1) 検体採取期間 平成 31 年 4 月から令和 2 年 1 月まで
- (2) 対象 犬 2 頭、猫 9 頭
- (3) 方法 脳摘出と鋳型を作成
- (4) 結果 脳モデル作成と脳の構造理解の促進
(助言・指導：狂犬病臨床研究会および国立感染症研究所獣医科学部)